



室蘭市青少年科学館 (科学の宝箱)

かがくかんニュース

平成 20 年度
12 月号
第 134 巻

カラー版DLは <http://www.kujiran.net/kagaku> 携帯は <http://www.kujiran.net/kagaku/i>

平成 20 年度 (第二回) 科学とものづくり自由研究発表会について

館長 小川 征一

昨年に引き続き表記大会が 11 月 3 日の文化の日に科学館 3 階実験室において開催されました。保護者の方々の参観を頂いて 22 グループがプレゼンテーションソフトのパワーポイントでまとめた資料を大型スクリーンに映しながら熱心に説明をしてくださいました。今年度は昨年度の反省を生かし、夏休み中に 4 日間の自由研究日を設け、自由研究のまとめや必要な実験観察をしてもらいました。全体的に言えることは図書館の本やインターネットで調べたことをそのまま自分の発表としてしまうような失敗はありませんでした。しかし、数校にまたがる研究グループが多く、研究の足並みがなかなかそろわないという苦勞もあったようです。今年度の最優秀賞は水元小学校 4 年溝端君の『トカゲの研究』でした。講評の一部を紹介します。『トカゲなどを家に持ち込むと嫌がる親も多いせい、苦手だという小学生も

からだの特徴3

色は全体的に、虹色で美しい。
特にしっぽのブルーがいんしょうてき。
これは幼体で、成体は、茶色い。

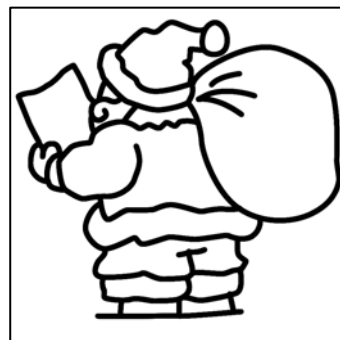


多いことでしょう。しかし、そのような動物(ワラジムシやクモ類もそうですね)でも好奇心と愛情を持ってつきあうと、その動物がもつ素晴らしさにびっくりさせられるものです。さて、本研究ではトカゲを採取した日時・環境についてくわしい説明がありポイントを押さえた研究のスタートになっています。飼育環境やエサについては、調べた本の名前ものせられており、これも研究のポイントとして大事なことです。今回はエサについて調べることが中心になっていて、餌の種類決定・給餌回数と給餌量の決定・調査方法の決定など研究全体を見通した計画性があり素晴らしいと思います。発表用のデジカメ写真も目を引くものが多く飼育中の様子を写した多数の写真からの抜粋であることがうかがわれます。『コオロギ』を食べなかったという結論でしたが、この部分の『考察』が欲しかったところです。また、爬虫類という説明もありましたが、動物の分類に関する説明や爬虫類の特徴などを付け加えたり、ニホントカゲの体の特徴をデジカメ写真で説明できれば一層奥行きのある研究になったと思います。

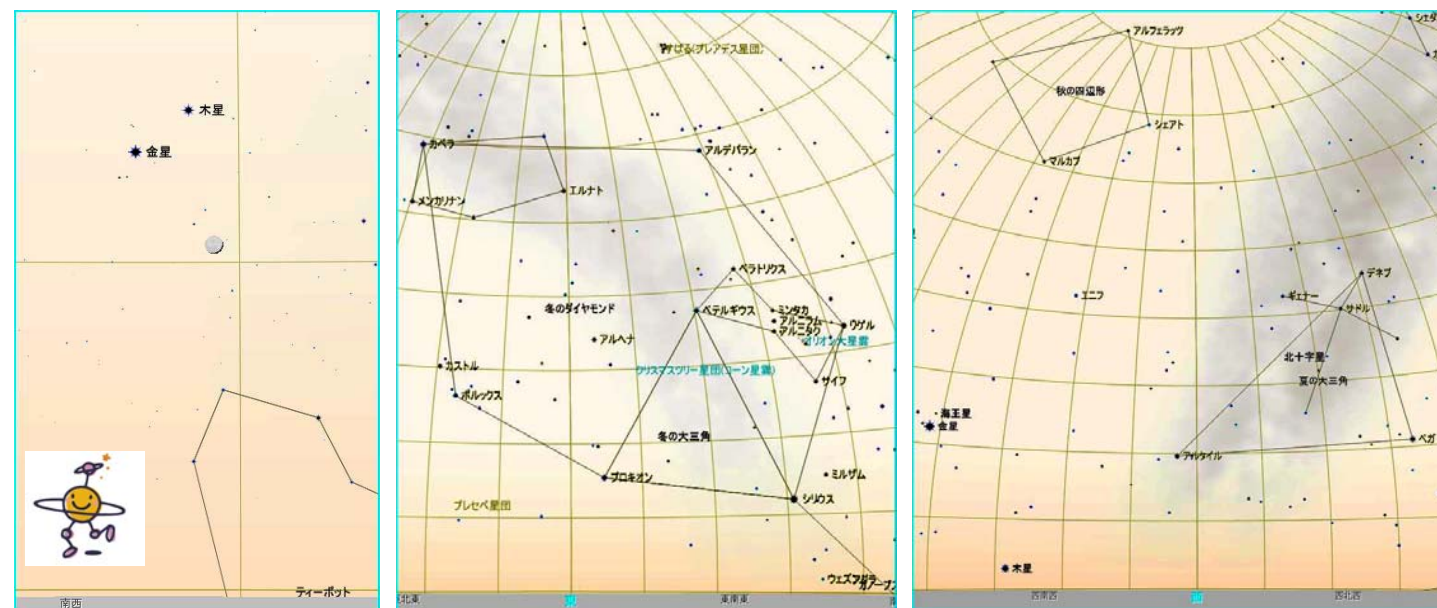
……次は産卵から孵化まで機会があったらチャレンジしてみてもいいでしょうか。研究内容が完全に自分のものになっていて堂々とした発表態度に余裕も感じられました。』本研究には副賞として『デジタルノギス・電子天秤・ライトスコープ』が贈られました。優秀賞には『円柱の強度』海陽小 4 年吉田君・日新小 4 年宮本君、『ストロークライダーの研究』地球岬小 4 年金森君・絵鞆小 4 年高橋君・鷺別小 4 年黒政君、『印刷色とドットの割合』水元小 5 年大鎌君、『化学電池の研究』水元小 5 年中村君・天沢小 5 年佐藤君、『ペットボトルブーメランの研究』喜門岱小 5 年安田君・秋山さん・柴田さん・4 年高橋君 の 5 グループが選ばれました。来年度の発表に向けて今からテーマを決定し夏休み中に研究をまとめられるよう期待しているところです。

第 14 回 CG ポストカードコンクール展

11 月 22 日 (土) に CG ポストカード講習会が開催され、中学生が作成した CG 作品を例に『レイヤー』とは何なのか、『レイヤー』をどのように使えばよいのか…などについてわかりやすい解説の後、自分で紙に書いた線画をスキャナーで読み込み CG づくりを行いました。このような胆振管内の小中学生が作った CG 作品 (ポストカード) を集めた『平成 20 年度 (第 14 回) 胆振管内児童生徒 CG ポストカードコンクール 2008』を 12 月 20 日 (土) ~1 月 12 日 (月) の日程で科学館 2 階多目的室を会場に開催します。パソコンをクリエイティブツールとして使いこなしている子どもたちのさまざまな作品を鑑賞していただければ幸いです。



12 月の星空散歩 (12 月 1 日午後 6 時、26 日午後 6~8 時頃)



12 月 1 日午後 6 時、南西の高度 10 度あたりにマイナス 4.1 等の金星とマイナス 2 等の木星が 2 度まで接近し、その 2 惑星に地球照も美しい月齢 3.6 の月が加わります。新月前の 26 日は暗い夜空になり星がはっきりと見え、西の空と東の空がにぎやかです。夏・秋・冬を代表する星座を一度に観望できます。午後 6 時頃になると西の空には夏の大きな大三角が高度 40~20 度にかけて・秋の四辺形が高度 60~75 度付近にみられます。さらに、木星は西南西の地平線近くに、金星は木星の南より高度 20 度付近に明るく輝いています。東の空では 11 月には午後 10 時頃になってやっと地平線に上がってくるシリウスを右下隅にした冬の大きな大三角が午後 8 時頃には見ごろを迎えます。冬の星座『オリオン座』も高度 30 度あたりの観望しやすい位置に上がってきます。オリオン座の大星雲 M42 も観望の好機を迎えます。南東の高度 70 度付近には美しい散開星団 M45『プレアデス星団:すばる』が凍てつく冬空に青白い光芒を放ちながら瞬いています。冬の星座たちが主役になる季節がやってきました。防寒には十分配慮して美しい冬の星座を十分に堪能してください。

科学館 12 月の行事、ファミリーサイエンス (FS)・スポットサイエンス (SP) 予定

行事等	内容
ファミリーサイエンス	各週 水曜・木曜 3, 4, 10, 11, 17, 18 日 (クリスマスキャンドル作り)
スポットサイエンス	各週 土曜・日曜 6, 7 日 (折りたたみカレンダー) 13, 14 日 (凧作り) 20 日 (空気ロケット) 21, 23 日 (カラーダイスパズル) 27, 28 日 (折り染め)
CG ポストコン作品展示	20 日 (土) ~1 月 12 日 (月)
プラネタリウム クリスマス特別投影	20, 21 日 (土日) 『宮沢賢治 双子の星』お話し会 13 時 30 分~
大人の科学クラブ⑦	11 日 (木) 愛称ムッピークラブ『断熱材でエコクッキング』 10 時半~12 時
教育機関来館	2 日 (北辰中 1 年) 16 日 (有珠小 5 年)
休館日	1 日、8 日、15 日 の各月曜日 29 日~1 月 3 日 (年末・年始休館日)